

「逆らわない者は味方」

2022年03月09日

ヨハネがイエスに言った。「先生、あなたのお名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、私たちに従わないので、やめさせました。」イエスは言われた。「やめさせてはならない。私の名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、私の悪口は言えまい。私たちに逆らわない者は、私たちの見方なのである。よく言うておく。あなたがたがキリストに属する者だという理由で、一杯の水を飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」(マルコ福音書9章38節～41節)

主イエスは12弟子を2人1組にして、「神の国」の宣教に遣わされた。「神の国」の宣教は三つの使命を持っていた。①人はどんなに悲惨な状況にあらうとも、神はその生を是認し、生きよと祝福してくださっている恵みを宣べ伝える。②当時、病は罪を犯したことに對する裁きと見られ、病人は「罪人」と烙印され、共同体から差別、排除されていた。主イエスは、それらの病人を癒し、共同体に復帰できるようにされ、そこに「神の国」のリアリティを現された。③当時は汚れた霊が浮遊する世界で、人は汚れた悪霊に取り付かれ、常軌を失う状態に追い込まれていた。神ならぬものを神のように絶対視し、身も心も支配されることである。主イエスは、真の神を指し示すことによって、悪霊に取り付かれた人から悪霊を解き放ち、共同体に復帰できる救いを与えられた。主イエスは弟子たちに、これら三つの宣教の使命を果たす権能を授けて、遣わされた。弟子たちは町や村を巡り歩き、主イエスから受けた権能の働きによって、「神の国」の宣教を力強く広げていった。彼らは宣教を喜び、与えられた力の絶大さに満足していた。

宣教から帰ってきたヨハネは、主イエスに宣教報告をした。このヨハネはゼベダイ家のヤコブ、ヨハネ兄弟の弟ヨハネである。彼は、「先生、あなたのお名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、私たちに従わないので、やめさせました」と報告した。ヨハネは病人を癒し、悪霊を追放する「神の国」の現実を示し、意気揚々戻って来た。ところが、その宣教において、主イエスの名を使って悪霊を追い出している者を見たので、主イエスの名を使うなら、我々に従うように求めたが、自分たちの忠告を聞かなかつたので、悪霊を追い出す業を止めよと厳しくとがめた。ヨハネは、主イエスの弟子であることを誇り、宣教に酔いしれていた。同じ働きをしながら、弟子である自分たちに従わないので、止めさせましたと勢い込んで報告している。

主イエスは、「やめさせてはならない。私の名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、私の悪口は言えまい。私たちに逆らわない者は、私たちの見方なのである」と言われた。ヨハネは、ペトロのような自家営業の漁師ではなく、雇人のいる大手の網本のような漁師であった。彼は、自分の立場の優位さを自負していたのか、ヤコブ、ヨハネ兄弟は「ボアネルゲス(雷の子)」というあだ名が付けられていた。雷の子とは、気が短く、排他的で、すぐに怒り出すということであろう。ヨハネは、仲間でない者は容赦しないと、正義感を持って怒りを爆発させた。ヨハネの宣教報告は彼の人柄を如実に表している。主イエスはヨハネに対し、逆らわない者は味方であると、徒な排除を慎むように寛容を教えられた。

「よく言うておく。あなたがたがキリストに属する者だという理由で、一杯の水を飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」この言葉は、初代教会において、宣教に苦勞する者たちへの励まし、また、宣教の裾野の広がりを許容する言葉であったのであろう。